



馬天っ子だより

教育目標:よく考え自ら学び・思いやりのある・たくましい子



学校便り第9号

2025年12月1日

南城市立馬天小学校

発行者:校長 瀬底 正栄



馬小 HP

ごらんください

第44回馬天小運動会



第44回馬天小学校運動会では、多くの保護者の皆様にご来校いただき感謝申し上げます。おかげさまで、子どもたちは精一杯の演技、競技を見せることができました。

また、当日は運動会の運営を陰で支えて下さったPTAの皆様には感謝申し上げます。これからも地域と共に、地域に根ざした学校づくりを推進してまいりますので、今後とも、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

はいさーい ぐすーよー ちゅーう うがなびら

学びを振り返る個人面談

いよいよ12月。師走を迎えました。今年は11月になつても半袖シャツで過ごせる日も多くありましたが、ここ最近は朝・夕は冷え込む日もあり、冬の到来を感じました。

さて、12月1日(月)から5日(金)まで、保護者との個人面談を行います。2学期を振り返り、お子様の学びを担任と共有していただきます。また、更なる成長のためにがんばってほしいことについてお話しします。

人がよりよく生きるために、素直さや優しさ、他人への思いやりのある行動、そして新しいものにチャレンジしていくことも大切です。教科の学習だけでなく、学校行事、児童会行事等で、子ども同士がふれあい、学びあい、成長している様子がたくさんありました。嬉しいことばかりでなく、失敗したことや友だちとけんかをしたことも、子どもの成長にはとても大切な経験です。

限られた時間ではありますが、お子様のよりよい成長に向けてご家庭と学校が共通理解を図る大切な機会です。どうぞよろしくお願ひいたします。そして、ご家庭に帰られたら、しっかりとほめていただき、新たな目標が立てられるように声掛けをお願いいたします。

いつペーにふえーでーびる





音楽発表会

11月21日(金)に島尻地区小学校音楽発表会がシュガーホールで開催されました。馬天小学校からは6年生が出場しました。自分たちで選んだ曲を9月から練習し、音楽専科の具志堅真喜子先生と一緒に学年練習を頑張ってきました。当日は、緊張しながらも最高の歌声を披露してくれました。

伝統芸の学習会



3年生が、津波古の伝統芸について学習会を行いました。講師として各保存会の方々が、歴史やその意味を丁寧に説明し、実演・体験まで行いました。

地震津波避難訓練



沖縄県広域地震・津波避難訓練に合わせて、本校の避難訓練を行いました。昨年は大津波警報を想定して、大里方面へ避難し、今年度は校舎内での垂直避難訓練を行いました。子どもたちは先生方の指示のもと、スムーズに避難することができました。



サンタクロースは本当にいるの？



子どもから質問を受けると、私は迷わず「サンタクロースはいるよ。」と答えています。今から100年以上も前の話です。アメリカのニューヨーク・サンという新聞社に、バージニア・オハロン(8歳の少女)から手紙が届きました。「…私の友だちの中に、『サンタクロースなんていない。』という子がいます。…サンタさんって、本当にいるのですか。」と。しばらくして、この手紙への返事が、新聞の「社説」に掲載されました。そこには次のように書かれていました。

◇かわいいバージニアちゃんへ

バージニアちゃんの、「サンタクロースはいる」と思っていることは、間違いではありません。この世の中に「愛」や「思いやり」や「まごころ」が私たちの毎日の生活をどれほど楽しいものにしてくれているでしょう。でもね、もし、この世の中から「愛」や「思いやり」や「まごころ」がなくなってしまったら、…サンタクロースさんもいなくなってしまうでしょうね。

ところで、「本物のサンタクロースを見た」という人は、世界中を探しても、どこにもいないようです。でもね、見た人がいないからといって、サンタクロースがいないということにはなりません。この世の中には目には見えなくても、本当に「大切」なことはいくらでもあるんですから。

サンタさんは永遠に生きています。そして、これからも、子どもたちの心の中を喜びでいっぱいにしてくれるでしょう。

社説は大きな反響を呼び、新聞社が発行を停止するまでの50年間、毎年掲載され、「アメリカで最も有名な社説の一つ」と言われているそうです。私は『この世の中には目には見えなくても、本当に「大切」なことはいくらでもある』という一文に心をひかれました。

馬天小のよい子にも、サンタクロースが来てくれますように。